

# 宇治市福祉有償運送運営協議会

## 会議録要旨

### 第 1 1 回

令和元年 10 月 31 日（金）開催

於 宇治市生涯学習センター第 2 ホール

# 第11回宇治市福祉有償運送運営協議会会議録要旨

令和元年10月31日（金）

於 生涯学習センター第2ホール

## 1. 協議会次第

(1) 交通政策課長あいさつ

(2) 新規委員紹介

(3) 宇治市における福祉有償運送事業に関する状況について

(4) 更新登録について

## 2. 更新事業者

特定非営利活動法人 京都運転ボランティア友の会

特定非営利活動法人 ほっととうがらし

社会福祉法人 同胞会福祉有償運送どうほうの家

## 3. 出席者（委員8名、事業者5名）

会 長 安藤 和彦

副 会 長 藤本 一幸

委 員 井上 純 中原 ヒデ子 石原 宏武

山本 康彦(代理 神山) 木下 健太郎

星川 修

事 業 者 石原 宏武 奥水 博史 勅使河原 仁

丸一 俊介 中谷 康哉

## 4. 欠席委員（1名）

島崎 貴士

5. 説明のために出席した者（3名）

交通政策課長 井上 宜久      交通政策課係長 西岡 信彦  
交通政策課主任 小倉 寛朗貴

6. 傍聴者 0名

7. 庶務

交通政策課主事 木村 謙斗  
交通政策課嘱託 松下 順子

## 第 1 1 回宇治市福祉有償運送運営協議会

令和元年 1 0 月 3 1 日（金）

宇治市生涯学習センター第 2 ホール

### 【開会】

#### **（1）交通政策課長あいさつ**

本日は、福祉有償運送事業を行われております 3 つの事業者の更新登録に関しまして、ご協議をいただきたいと考えております。

本市におきましても少子高齢化が今後も進展することが将来人口推計からも顕著に現れており、1 人で移動が困難な方の移動手段の選択肢の 1 つとして、本事業が担う役割は益々重要になってくるのではと考えております。

委員の皆様には、様々な見地からご意見をいただきたいと考えております。

#### **（2）新規委員紹介**

事務局より新規委員を紹介。

### 【議事】

#### **（3）宇治市における福祉有償運送事業に関する状況について**

《事務局による説明》

本協議会では、「福祉有償運送の必要性」「旅客から収受する対価」「運送の区域」「旅客の範囲」が適切であるかをご議論いただくこととなっております。

福祉有償運送は、N P O 法人等が要介護者や身体障害者等の移動制約者でかつ会員登録した方だけを輸送するもので、本協議会で関係者の合意が必要となっております。

宇治市における 6 5 歳以上の人口、福祉有償運送対象者延べ人数は、ともに年々増加しています。

利用者が支払う料金として比較した場合、タクシー事業者と福祉有償運送事業者に大きな差はありませんが、運賃のみを比較した場合は、タクシー事業者のおおよそ半額程度となっています。

#### 《委員からの質問や意見》

**委員**：会員数の合計はどれくらいおられますか。

**事務局**：宇治市内で4法人に実施していただいております、昨年度実績で概ね200名程度の利用者がおられます。

#### (4) 更新登録について

##### 《事務局による説明》

個人情報を含む資料は事前に事務局で確認を済ませ、資料には内容を記載しています。それ以外の申請書類は、写しを配布しています。

##### ～ 特定非営利活動法人 京都運転ボランティア友の会 ～

保有している車両は全部で4台あり、全て車いす対応車となっております。運転者は14名おられ、利用者の会員登録者は44名おられます。利用者負担金については、基本的には距離制運賃制度で、1kmあたり85円が加算され、次年度5月以降は95円に変更される予定です。

#### 《委員からの質問や意見》

**委員**：運転者の平均年齢は何歳ですか。

**事業者**：70.4歳です。

**委員**：一番年齢の高い方は。

**事業者**：83歳です。

**委員**：二種免許を持っている方はおられますか。

**事業者**：3名おります。

**委員**：日々の健康管理や点呼のアルコールチェック等はどのようにされていますか。

**事業者**：アルコールチェックについては、事務所に置いており出勤前に必ず行っています。健康診断については、事業所負担で京都市が行っている健康保険で年1回行っています。

### ～ 社会福祉法人 同胞会 福祉有償運送どうほうの家 ～

保有している車両は全部で10台あり、その内3台が車いす対応車となっております。また、車両台数が5台以上となることから運行管理の責任者の要件を備えることが必須となり、その要件を備えていることを示す資料として、京都府公安委員会の安全運転管理者講習の修了証書もご提出いただいております。運転者は36名おられ、利用者の会員登録者は16名おられます。利用者負担金については、基本的には距離制運賃と時間制運賃制度を併用されています。

#### 《委員からの質問や意見》

**委員**：運転手の平均年齢と最高齢の年齢は何歳ですか。

**事業者**：30代、40代が多いがそれより若い職員もいるため、30代前半と認識しています。最高齢は59歳です。

**委員**：二種免許を持っている方は。

**事業者**：2名います。

**委員**：運行前後のアルコールチェックはされていますか。

**事業者**：運転前に血圧とアルコール、体温をチェックするシステムがあります。これはドライブレコーダーと連動しております。その他、めまい等があるか自己申告を受けています。

**委員**：健康診断は年1度ですか。

**事業者**：そうです。

**委員**：車両が10台あるが増やしてほしいとの声が現場からありますか。  
また、需要と供給のバランスはどうなっていますか。

**事業者**：需要と供給に関しては釣り合っているという認識です。車両についても十分な数があり、運転手も36名いるため利用者からの要望に対応できるようにしています。

**委員**：今の利用内容はどうですか。

**事業者**：以前は放課後デイサービスの通所が多かったが、現在は通院が多くなっています。京都市や城陽市への通院が増加しています。

**委員**：利用者からのお声はなにかありますか。

**事業者**：一般のタクシーや福祉タクシーではオプションでかなり高くなるが、こちらでは3分の1程度となりかなり助かっているという意見がありました。

### ～ 特定非営利活動法人 ほっととうがらし ～

保有している車両は全部で2台あり、その内1台が車いす対応車となっております。運転者は7名おられ、利用者の会員登録者は9名おられます。利用者負担金については、基本的には距離制運賃と時間制運賃制度を併用されています。

### 《委員からの質問や意見》

**委員**：先ほどと同様に運転者の平均年齢と最高齢、それとアルコールチェック等の状況はどうですか。

**事業者**：平均年齢は約40歳、最高年齢が60歳。二種免許は0名。アルコールチェックは機械を使っては行っていません。通常事業として、精神障害者の支援をしており、業務を兼務する形で運送をしていますので、朝礼時に対面で健康状態を確認している状況です。

健康診断等については、年に1回行っています。

**委員**: アルコールチェックについては、朝礼時に確認をされていますが、なるべく運行前にされた方が良いでしょう。また、意外と前日のアルコールが残っている事例があるので、簡易的なものでもいいので機械でのチェックをお願いします。

**委員**: 平成28年3名の会員からスタートしており現在9名とありますが、今後の見通し等はどうですか。

**事業者**: 本法人は精神障害者への支援に特化しており、通常の福祉制度を活用していますが、それが利用できない方もおられます。そのような制度の狭間に落ちる利用者を助けるために事業を実施しています。利用者は増加しており、精神障害者が高齢化により身体機能が低下し、利用したいという方が増加しています。今後も増加する可能性が十分にあると認識しています。

**委員**: 増車等の検討はされていますか。

**事業者**: 福祉事業を実施しながらの運用となるため、事業所としてのキャンプも考えながら慎重に検討していく必要があると考えています。

## 【事業者への承認】

「特定非営利活動法人京都運転ボランティア友の会」、「特定非営利活動法人ほっととうがらし」、「社会福祉法人同胞会福祉有償運送どうほうの家」の更新登録について全員一致で承認。

## 【閉会】

### 《会長総括》

審議させていただいた中で、苦情や事故がないことが一番だと思います。やはり安心・安全に地域で生活していける。そして移動難民にならないようにこれからいろいろでてくると思いますので、こういう安心・安全な運転を今後も続けてもらいたいと思います。